

ウコギ科 キツタ属

キツタ (木蔦)

Hedera rhombea (Miq.) Bean

自生環境

山林、道ばた など

原産地

日本在来

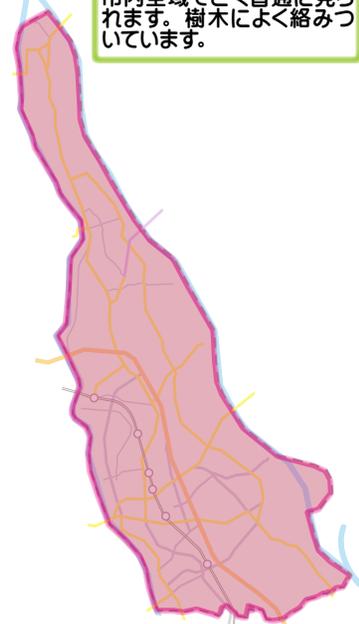
生育を脅かす要因

(今のところ特になし)

市内全域にごく普通で、今のところ絶滅の心配はありません。しかし目の敵にしすぎるのは考えもの。地域の樹木として、やさしく見守る気持ちを大切にしたいところです。

市内の分布状況

市内全域でごく普通に見られます。樹木によく絡みついています。



特徴

- ☆ どこにでもごく普通に生えるつる性の樹木です。つるはびっしりと生えた気根で、もじゃもじゃして見えます。この気根で体を支えながら、壁や幹などをよじ登っていきます。このつるは年を重ねるごとに太くなり、ときに直径 5cm 以上にもなります。
- ☆ 葉は深緑色。厚くて頑丈で、表面には光沢があります。常緑で、冬も青々としているため、フユツタとも呼ばれます。葉のかたちにはバリエーションがあり、同じ株の中でもいろいろなかたちが混じります。
- ☆ 秋から初冬にかけ、くすんだ黄緑色の花を咲かせます。花には独特の匂いがあり、小春日和のときはたくさんの昆虫が花を訪れます。果実は翌年の初夏に黒っぽく熟します。この果実は人間は食べられませんが、鳥さんには人気があるようです。

キツタは日本のアイビー

アイビーやヘデラの名前で、寄せ植えやグランドカバーなどに使われる植物は、正式にはセイヨウキツタと言います。そう日本のキツタと同じ仲間で、ヨーロッパ原産の種類です。どちらもよく似ていますが、栽培されるセイヨウキツタは、葉に斑が入るものが多く、葉形のバリエーションも豊富です。また新しいつるをよく見ると、キツタはほぼ無毛なのに対し、セイヨウキツタは毛が多く生えています。



秋の終わりのころ、多数の小さな花が丸く集まって咲く



ひとつの花の直径は 1cm くらい。花びら 5 枚、雄しべ 5 本



果実は 5~6月ごろに成熟する



新しいつる

毛がほとんど無い

毛がある

参考 セイヨウキツタ
アイビー/ヘデラ



常緑で葉は 1 年じゅう青々と茂る

樹木などにくっついて高いところへ這い上がる

幹は気根でもじゃもじゃこの気根で体を支える



わびちゃんねる 千葉県野田市の植物を動画で紹介!

<https://www.youtube.com/channel/UCJvrXBjegnWATWd-UZsNzCA>

